

5年生 社会⑧

日本のさまざまな気候

教科書 P22～23

【用意するもの】

・教科書 ・地図帳 ・社会のノート ・筆記用具

【授業の流れ】

- 教科書をよく読んで、問題を進めよう。
- 問題の答えは、すべてえんぴつで書こう。

うおんず
雨温図

ある地域の降水量と気温をあらわすグラフのこと。

めあて ノートに赤えんぴつでめあてを書こう。

雨や雪のふる量には、何の関係しているのだろうか。

①教科書22ページの、東京と白川郷の写真や雨温図を比べよう。
(教科書22ページの「学びのてびき」をよく読んでからやろう!)

- ①雨温図の気温のグラフを比べて、気づいたことを書こう。
- ②雨温図の降水量のグラフを比べて、気づいたことを書こう。

どっちの気温が低い?どっちの降水量が多い?
差はどれくらい?
書けない人は、それぞれの2月のところを比べてみよう!

②教科書22ページの因～因のグラフの中から2つ選び、気温と降水量について比べてわかったことを書こう。

- ①比べた都市 _____と_____
- ②気温のグラフを比べてわかったこと。
- ③降水量のグラフを比べてわかったこと。

少しレベルアップして、
季節などからめて
書けるといいなあ。

③教科書をよく読み、①～⑩の（ ）にあてはまる言葉を書きましょう。

（文章は、すべてノートに写そう。①～⑩の言葉は赤で書こう！）

- 同じ地域でも、月ごとに（①）や（②）のちがいがあり、春夏秋冬という（③）の変化が見られます。
- 6月から7月にかけて、おもに北海道以外の地域では（④）があり、夏から秋にかけては日本の（⑤）から（⑥）が多くやってきます。
- 季節によって日本の国土にふく風の方向が変わります。この（⑦）と、国土の中央に連なる（⑧）のえいきょうによって、冬は（⑨）で雪が多くふり、（⑩）ではかわいた晴天の日が続きます。

前回学習した山地や山脈の位置が、季節風や降水量にかかわってきたね！

やっぱり重要だったんだ！やっといてよかったあ～

④今週、学習したことをまとめよう。

キーワードの言葉を使って、自分の言葉でまとめよう。

◎どうして、各地の気候にはちがいが生まれるのだろう？

日本各地の気候にちがいはあるのは、 _____

_____ からだ。

キーワード

- 細長い • 山地や山脈
- 梅雨 • 季節風 • 台風

いくつキーワードを使えるかな？

全部使ってかけたら**すごい**！